

# 医学部・歯学部受験

# 究極の匠



## 医学科入試へのアドバイス

～国公立大学医学科入試における具体的難易度～

国公立大学医学科入試において確実に合格水準に到達するためには、センター試験・2次試験において各教科ともハイレベルな成績が要求されるのは当然のことですが、医学科入試における具体的難易度をデータ上で確認してみますと、次のようになります。

- ❖ 1 ❖ 東京(理科三類)・京都(医学科)  
センターボーダー：92～94% / 2次偏差値：73～74
- ❖ 2 ❖ 大阪・東京医科歯科・名古屋(医学科)  
センターボーダー：90～91% / 2次偏差値：70～72
- ❖ 3 ❖ 神戸・大阪府立・京都府立医科・岡山・広島・九州・北海道・千葉・横浜市立・東北・筑波・金沢・名古屋市立(医学科)  
センターボーダー：87～90% / 2次偏差値：68～69
- ❖ 4 ❖ 上記以外の地方国公立大学の医学科  
センターボーダー：85～87% / 2次偏差値：65～67
- ❖ 5 ❖ 国公立大学理系学部  
東京大学理科一類・理科二類  
センターボーダー：89～90% / 2次偏差値：68～69  
京都大学総合人間学部・薬学部・理学部・工学部・農学部  
センターボーダー：84～87% / 2次偏差値：64～67

これらのデータから、国公立大学医学科合格のためには、京大理系学部合格する学力が「最低限」必要になります。具体的にはセンター85% / 2次偏差値65のレベルが最低限のボーダーとなりますが、このボーダーをクリアすることは医学科合格のための最低限の必要条件であっても決して十分条件ではないことに留意すべきなのです。

国公立大学医学科は定員が少なく5～10倍の高い志願倍率になる場合も多く、ボーダーライン上に多くの志願者が集中することで、ボーダーライン付近の合格が厳しくなる場合が殆どです。ですから、定員が多く志願倍率の低い工学部・農学部の場合と同じ様な感覚でボーダーラインを把握しては、医学科合格は困難になります。具体的にはセンター試験85%程度で2次偏差値60台半ばの受験生は、京大理系学部には十分合格できますが、地方国公立大学医学科の合格は大変厳しいと言わざるを得ないのです。

こうしたことから判断すると、国公立大学医学科は、データ上のセンターボーダーラインや2次偏差値が高いのは当然のこととして、ボーダーラインをくセンター試験の得点率(%)と2次偏差値ポイントの合計ポイント>で5ポイント程度上回る成績でないと、確実に合格することは困難であるというのが現実なのです。

## 医学部受験専門

長年の実績、医学部受験専門講師による指導。医学部入学への「戦略」を立案・サポートします。

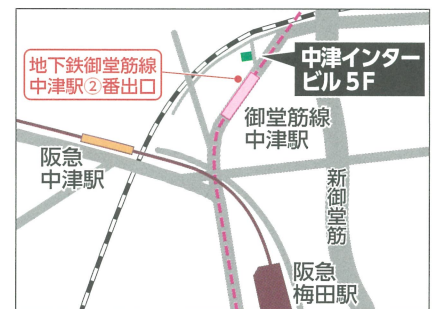
完全個別

# 医匠塾

ISHOJUKU

アクセス・校舎情報

- 最寄駅 阪急 梅田駅 徒歩9分  
御堂筋線 中津駅 徒歩1分
- 新住所 大阪市北区中津1丁目17-25  
中津インタービル5F



## 学習・進学相談

## 個別にて随時受付中

弊センター専門担当が、学校・塾等の問題点などご相談させていただきます。お問い合わせは、京都府保険医協会 075-212-8877 または、中央受験センターまでどうぞお気軽にご連絡下さい。



プロ家庭教師  
派遣

# 中央受験センター

中央受験センター

検索

受付時間：10:00～21:00(日・祝除く)



# 0120-880-199